ベビーカーマーク普及啓発キャンペーンについて

参考

キャンペーン概要

『ベビーカーマーク』
ベビーカー使用者が安心して利用できる場所や設備（エレベーター、鉄道や車両スペース等）を表しています。
ベビーカーマークは平成27年5月にJIS化されました。

国土交通省では、平成26年より**毎年5月頃、ベビーカーキャンペーン**として、「ベビーカー利用にあたってのお願い」と「ベビーカーマーク」を広く周知・浸透させる取組を実施。（令和2年度におけるキャンペーンは、コロナ禍の影響を受け、7月に実施。）

ポスター

チラシ

車内デジタルサイネージ

令和2年度実施概要

〇ベビーカーキャンペーンの実施
駅や車両、各種建築物等においてポスターの掲示やチラシの配布などを実施。

	ポスター	チラシ配布
駅、車両等	約54,700枚	約42,900枚
建築物	約1,000枚	約1,600枚

※その他、アナウンスを実施するなど事業者独自の取り組みを実施。

〇国土交通省公式ツイッターへの掲載
〇ヤフーバナー広告（政府広報）
〇東京メトロ等における車内デジタルサイネージでの放映
〇地方運輸局等が実施するバリアフリー教室におけるベビーカー利用及びベビーカーマークの普及・啓発等

座席の利用マナー向上キャンペーンについて

国土交通省

キャンペーン概要

オリンピック・パラリンピック東京大会を契機とした共生社会実現に向けて、「心のバリアフリー」などソフト面の取組を強化する必要があることから、鉄道・バスの座席の利用について真に必要な方が優先的に使用が出来るように、一般利用者に対して、今般「座席の利用マナー向上キャンペーン」を実施。

■実施期間
令和2年3月23日（月）～4月30日（木）

■ポスター配布枚数　合計：約50，500枚
＜鉄道編＞
タテ版　約5，400枚
ヨコ版　約16，000枚
＜バス編＞
タテ版　約1，100枚
ヨコ版　約28，000枚

■全国の鉄道・バス事業者に送付

■SNSを活用したマナー向上啓発
国土交通省公式Twitter

＜ポスター（2種類）＞

＜鉄道編＞

＜バス編＞